


12月末組織人数
5,225人

岩手県連ホームページに
アクセス出来ます。 → 

建労いわて 月刊号

発行所
岩手県建設労働組合連合会
教宣部
盛岡市本宮一丁目7番27号
電話 019-631-3280
FAX 019-635-4015
発行者 宮本勝吉

新年の御挨拶



明けましておめでとうございます。皆様お揃いで
健やかな新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。
日頃より県連の事業や行事に対してご理解ご協力を
賜り、深く感謝申し上げます。

昨年は、西日本豪雨や北海道胆振東部地震、加えて
40度を超える猛暑等自然災害が非常に多い一年
でしたが、幸い県内では大きな被害もなく安堵しま
した。県連の大きな事業として「震災復興支援感謝
祭」を開催し、支援頂いた皆さんへの感謝と被災地
の早期復興、併せて元気宣言を行いました。また
「職人の集い」を屋外で開催し、仲間の生活安定と
後継者の育成に向けて適正な賃金の確保を目指そう
と訴えました。

今年は亥年、平成から新元号へ替わる年でもあり
ます。猪突猛進、組合員が一致団結し5,200馬力
で取り組み、賃上げと安心して働ける職場環境を勝ち
取りましょう。

私も県連会長二期目となります。役職員と創意工
夫して楽しく仕事に役立つ事業を企画して参ります
ので、皆様のご支援ご協力をよろしくお願ひします。

年頭にあたり、岩手県連の更なる躍進と皆様のご
健勝を祈念致しまして、新年の挨拶と致します。

岩手県連 会長 高橋 清一郎



参加者全員で団結ガンバロウ

【県連
鈴木(章) 記】

経過・決算報告。
拍手で承認される
と来年度の運動方
針等を提案し、質
疑意見無く、場所
を移して各専門部
の分科会が行われ
ました。

なお、2日目に
行われた各専門部
の分科会報告の詳
細につきましては、
2月発行の「建労
いわて増刊号」、
新役員の一覧につ
いてはこの紙面の
裏面に掲載いたし
ます。



楽しいイベントの復活を要望した釜石の菊池忠孝さん

平成30年12月9日から10
日に花巻市「ホテル志戸平」
において、岩手県建設労働
組合連合会第57回定期大会
が開催されました。
1日目は、2018年度
の経過と決算報告、201
9年度の運動方針・予算案
の提案、各専門部の分科会
が行われました。
今回の定期大会には役員
と組合員合わせて147人
が参加。来賓として平野達
男参議院議員をはじめ、岩
手県議会議員2人、中建国
保本部の岩館常務理事、関
係団体から3人にご出席頂
き、全建総連本部からは小
林税金対策部長にご出席頂
いただきました。

「私達は労働組合です。
働く仲間の生活の安定、レ
ベルアップを目指しながら
常に高い目標を掲げ、目標
達成の為に組合員総動員で
一致団結し、がんばり続け
ていかなければなりません。
皆様のご協力よろしくお願
ひします」とあいさつがあ
りました。

小林税金対策部長からの
本部報告では「免税事業者
に直接影響を及ぼすインポ
イス制度が増税から4年後
にスタートします。全建総
連は小零細事業所、免税事
業者をはじめ大きな影響を
及ぼさない様な見直しを求
めています。その為にも皆
様の取り組みの参加をお願
ひします」とお話しがあり
ました。

◆今年から教宣部長になり
ました、宮古建設組合の宮
本勝吉です。県連のこの部
門に籍を置くのは30年ぶり
となり、当時のことを思い
出しながらの活動です。
◆まだ手書き編集の頃、先
輩方の編集作業を手伝い、
各ブロック担当者で集まり
機関紙を年4回欠かさず作っ
ていた姿が懐かしく思い出
されます。
◆学習会も頻繁に開かれ文
章の書き方、読ませる見出
しの作り方、記事の文章の
構成の特徴などを指導して
もらい発行を守ったことを
懐かしく思い出します。半
面大いなる責任の重さを感じ
ます。
◆今の発行事情はパソコン
の普及により大分作り易く
なったとはいえ文責はます
ます重要になったと自覚し
ています。しかし、楽しく
読んでもらうことを考える
と、ある程度ハードルを調
整することが書きやすく読
みやすいものになってきま
す。幸い今の岩手県連には
パソコンのスキルがあるの
で心強く思っていると共に
任期を全うするまで取り組
もうと思っています。

◆30年の歳月のページをめ
くり広げ、今一度初心に戻
り教宣活動の意義を掘り下
げてみながら後継者につな
げる活動に身を置こうと思
うところです。
【教宣部長 宮本 勝吉】

岩手県連
第57回定期大会

働く仲間の為に

きぎずな